

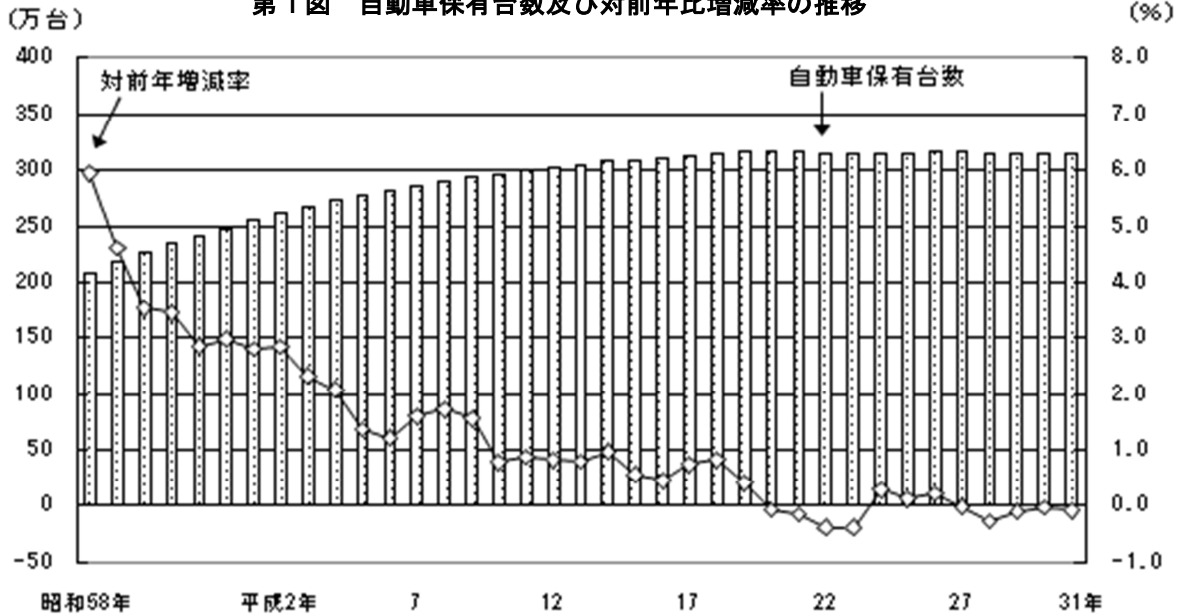
平成 31 年静岡県の自動車保有台数調査結果の概要

1 自動車保有台数

自動車保有台数は 3,143,126 台、5 年連続減少

平成 31 年 4 月 1 日現在の県内の自動車保有台数は、3,143,126 台で、前年 3,145,817 台と比べ 2,691 台 (0.1%) 減少となり、昨年の 0.02% 減に引き続き 5 年連続で前年より減少した。

第 1 図 自動車保有台数及び対前年比増減率の推移

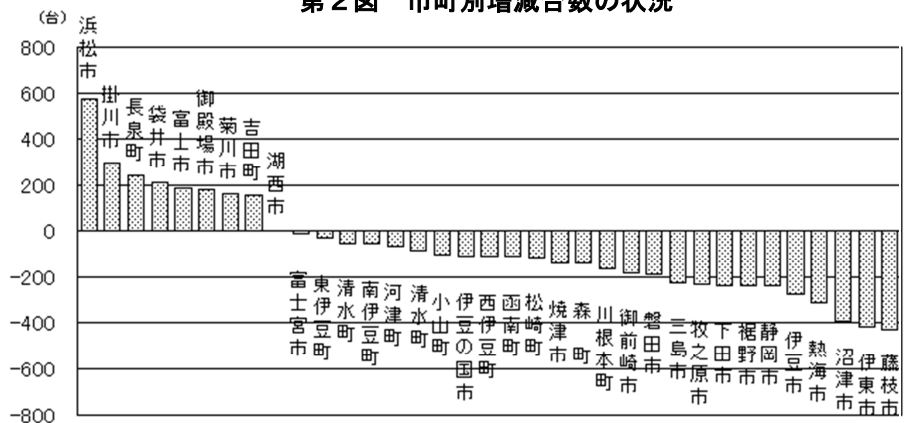


2 市町別自動車保有台数

9 市町が前年より増加、26 市町が前年より減少

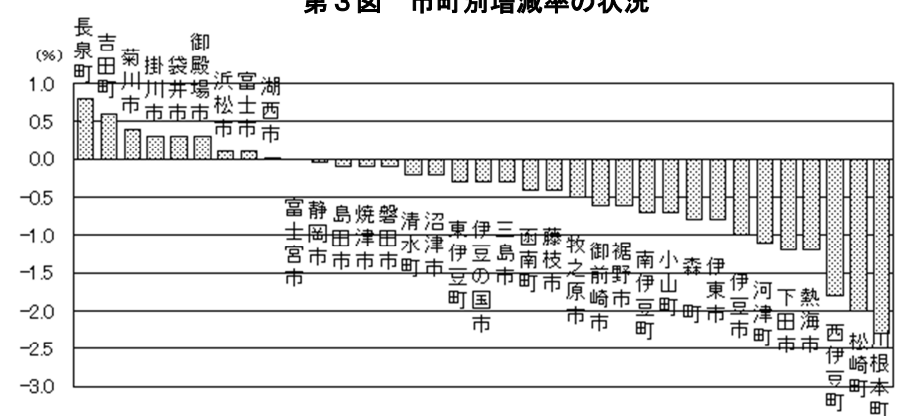
増減台数順位		
順位	市町名	増減台数
1	浜松市	575
2	掛川市	296
3	長泉町	240
4	袋井市	210
5	富士市	189
～		
31	伊豆市	-274
32	熱海市	-313
33	沼津市	-391
34	伊東市	-417
35	藤枝市	-430

第 2 図 市町別増減台数の状況



増減率順位		
順位	市町名	増減率%
1	長泉町	0.8
2	吉田町	0.6
3	菊川市	0.4
4	掛川市	0.3
4	袋井市	0.3
4	御殿場市	0.3
～		
31	下田市	-1.2
31	熱海市	-1.2
33	西伊豆町	-1.8
34	松崎町	-2.0
35	川根本町	-2.3

第 3 図 市町別増減率の状況



3 車種別自動車保有台数

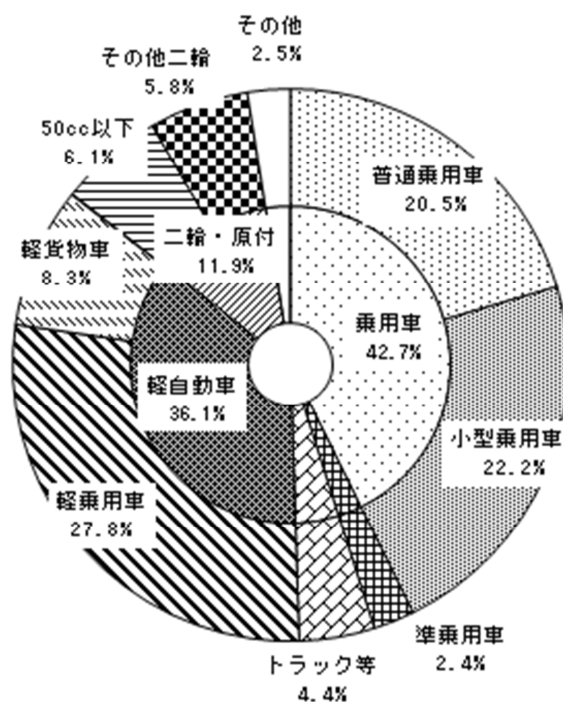
(1) 車種別構成比

車種別では、全体の42.7%が乗用車

全体の42.7%が乗用車であり、次いで軽自動車が36.1%を占める。前年と比較すると、軽自動車は0.4ポイントの上昇、乗用車は0.1ポイントの低下、二輪・原付は0.2ポイントの低下となっている。

車種	台数	平成31年	前年
乗用車	1,343,208	42.7%	42.8%
（普通乗用車）	643,967	20.5%	20.1%
（小型乗用車）	699,241	22.2%	22.8%
軽自動車	1,133,787	36.1%	35.7%
（軽乗用車）	873,165	27.8%	27.4%
（軽貨物車・軽三輪車）	260,622	8.3%	8.3%
二輪・原付	372,194	11.9%	12.1%
（50cc以下）	190,935	6.1%	6.4%
（その他二輪）	181,259	5.8%	5.7%
トラック等	139,634	4.4%	4.4%
準乗用車（貨客兼用小型自動車等）	74,430	2.4%	2.4%
その他（バス、特車等）	79,873	2.5%	2.5%
計	3,143,126	100.0%	100.0%

第4図 車種別構成比



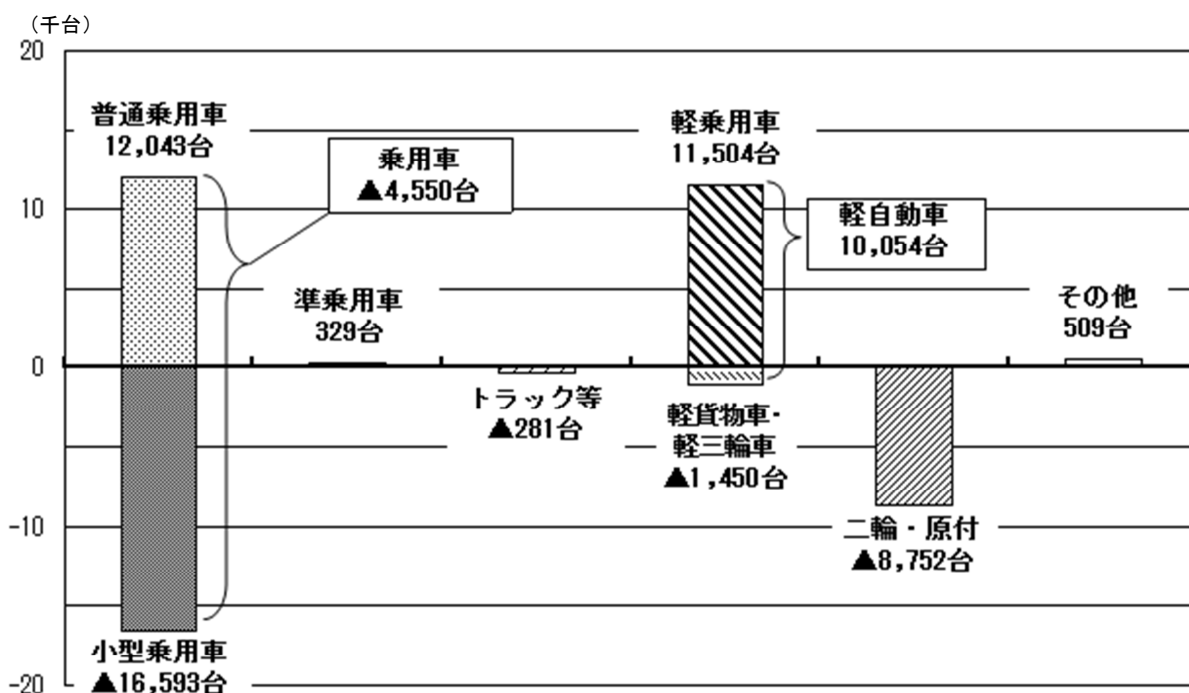
(2) 車種別対前年増減台数

昨年より乗用車は減少、軽自動車は増加

車種別台数を前年と比較すると、普通乗用車は増加しているが小型乗用車の減少が大きく、乗用車全体では4,550台の減少となっている。

また、軽自動車は軽貨物車及び軽三輪車が減少しているが、軽乗用車の増加により10,054台の増加となっている。

第5図 車種別対前年増減台数の状況



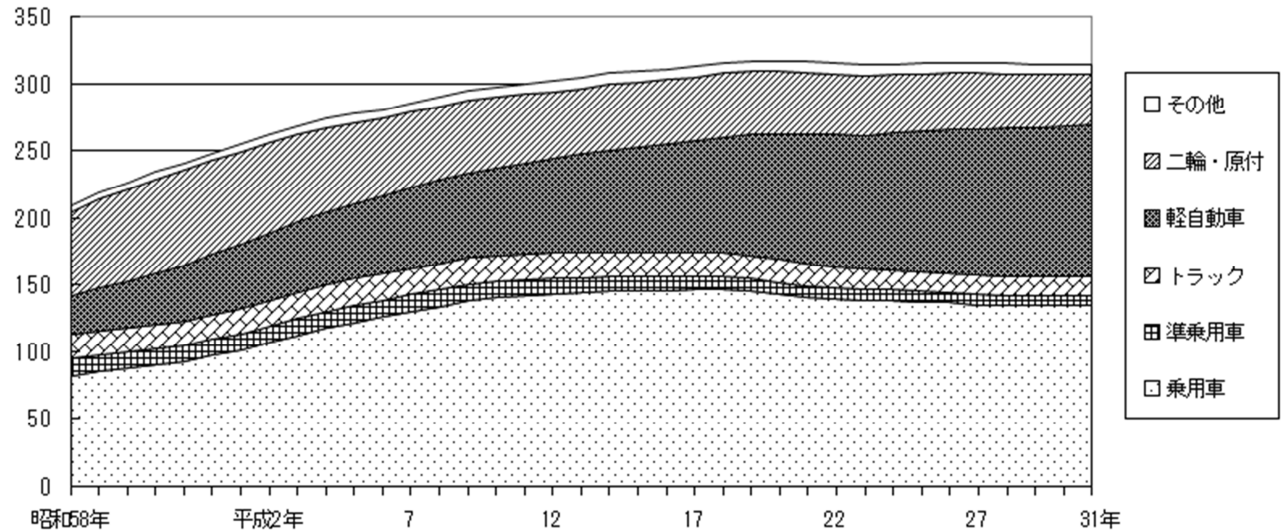
(3) 車種別保有台数の推移

軽自動車は42年連続の増加、乗用車は昨年より減少

車種別台数の推移を長期的にみると、軽自動車は、昭和53年から42年連続で増加して、平成31年の保有台数は、1,133,787台となった。また、乗用車は1,343,208台となり、昨年より減少した。

(万台)

第6図 車種別保有台数の推移



4 電気自動車等の状況

(1) 電気自動車等の自動車保有台数

全体に占める割合は9.4%、乗用車に占める割合は21.9%

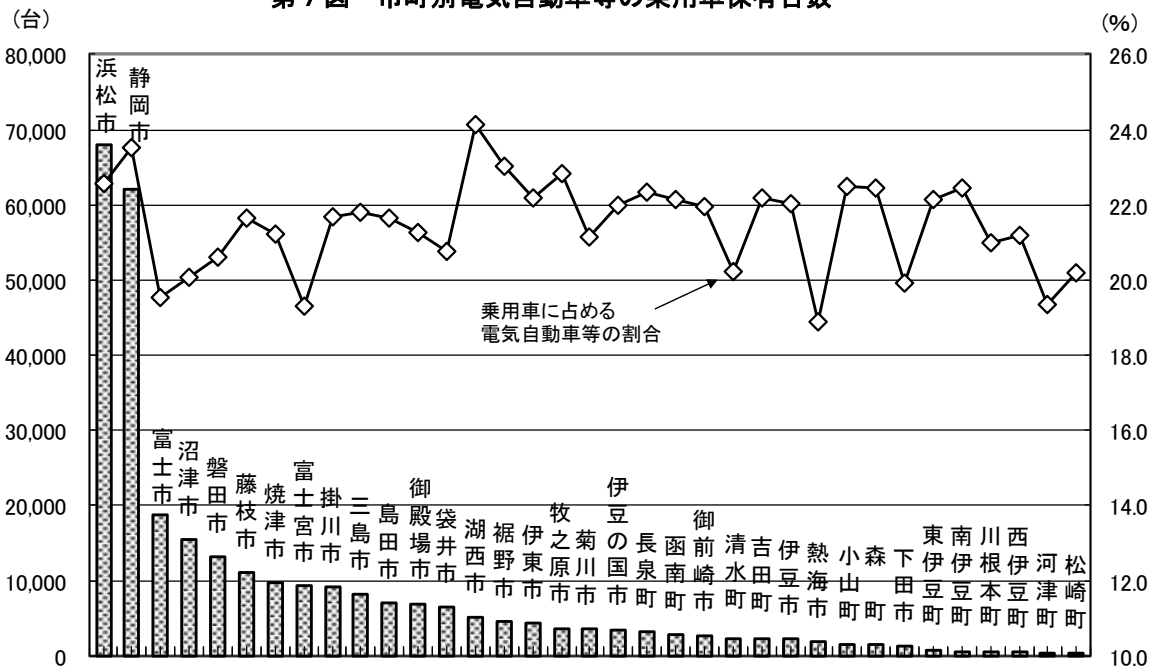
電気自動車等は県全体でみると294,823台あり、全車種に占める割合は9.4%(対前年比1.2ポイント上昇)となり、乗用車のみでは293,745台、21.9%(同2.7ポイント上昇)となっている。

(2) 市町別乗用車台数

浜松市、静岡市で全体の約44%を占める

市町別に電気自動車等の乗用車保有台数をみると、浜松市67,920台及び静岡市61,967台の上位2市の合計台数が県全体(293,745台)の44.2%となっている。

第7図 市町別電気自動車等の乗用車保有台数



注) 折れ線は、各市町別の全乗用車数に占める電気自動車等乗用車数の割合(%)を表す。

5 自家用乗用車の状況

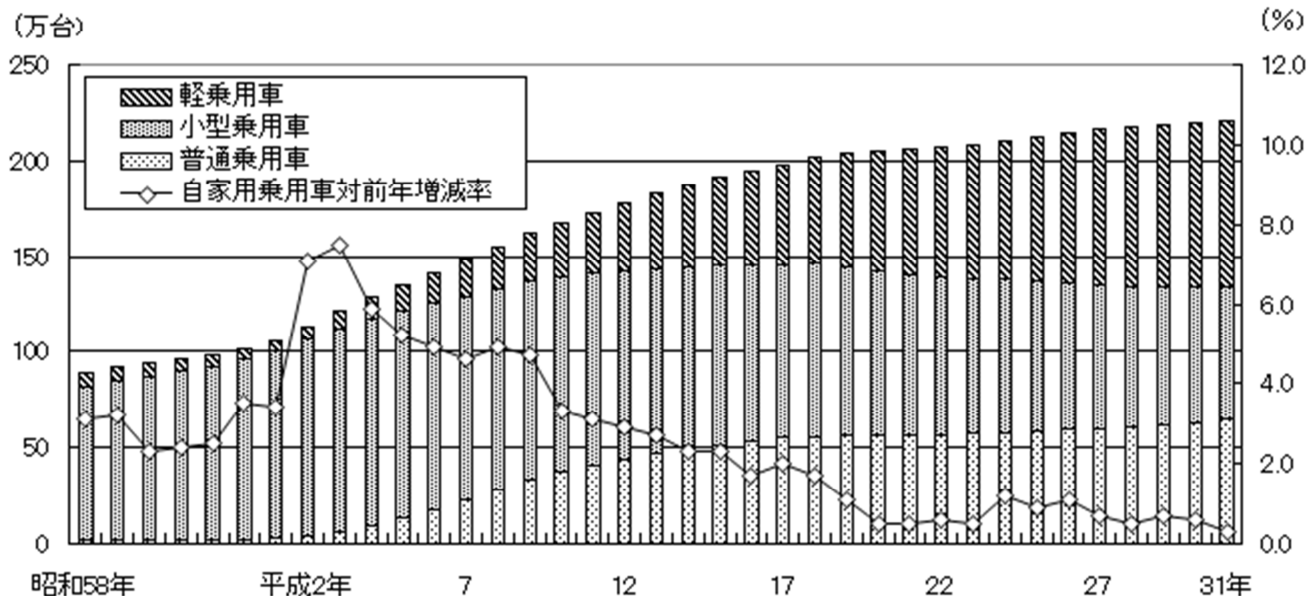
自家用乗用車は前年に比べ0.3%の増加

自家用乗用車（乗用車のうち自家用のもの及び軽乗用車）は2,211,522台で、自動車全体の70.4%を占めており、前年の2,204,507台と比べると7,015台（0.3%）の増加となっている。

自家用の軽乗用車は、30年連続の増加

自家用乗用車の内訳を長期的にみると、軽乗用車は平成2年から一貫して増加し、小型乗用車は平成5年をピークに減少を続けている。なお、普通乗用車は調査開始以降、平成21年に初めて減少したが、平成22年以降再び増加傾向を示している。

第8図 自家用乗用車の車種別保有台数の推移



自家用乗用車1台あたり人口及び1世帯あたりの自家用車保有台数は減少

自家用乗用車1台あたりの人口は1.65人で、前年から0.01人減少した。
また、自家用乗用車の1世帯あたり保有台数は1.50台で、前年から0.01台減少した。

第9図 自家用乗用車1台あたり人口及び世帯あたり保有台数の推移

